

平成29年度 第2回新居浜市政策懇談会議事録

○日 時 平成29年11月27日(月) 18:30～20:10

○場 所 消防庁舎4階 消防コミュニティ防災センター

○委員の出欠 出席30名(代理出席1名含)、欠席10名

○会議次第

1. 開会

市長あいさつ

2. 議事

- (1) 各ワーキンググループ提言案の審議
- (2) 意見交換
- (3) その他

3. 閉会

1. 開会

事務局： 定刻がまいりましたので、ただ今から「平成29年度 第2回新居浜市政策懇談会」を開催いたします。本懇談会は、審議会等の公開に関する要綱に基づきまして、全部公開となっておりますこと、また、議事録等につきましては後日、新居浜市のホームページにおいて公表されますこと、あらかじめご承知くださいますようお願い申し上げます。

本日は委員の皆様方にはご多忙にもかかわらず、ご出席をいただきまして、ありがとうございます。

議事に入ります前に、本日の委員の欠席及び第1回の政策懇談会の内容につきまして、ご報告いたします。

まず、本日欠席されております委員は、新居浜ものづくり人材育成協会の小野委員さん、新居浜市ボランティア連絡協議会の片上委員さん、新居浜市保育協議会の合田委員さん、新居浜市歯科医師会の小溪委員さん、新居浜市農業協同組合 福本委員さん、新居浜市PTA連合会の藤田優(まさる)委員さん、新居浜地区防犯協会の星加委員さん、住友金属鉱山株別子事業所の松下委員さんにおかれましては、所要のため欠席のご連絡をうけておりま

す。ご了承をお願いいたします。

また、新居浜市観光協会の畑田委員さんの代理で、織田様にご出席いただいております。本日はよろしくをお願いいたします。

なお、オブザーバーとしてご参画いただいております、釜野先生、佐藤先生につきましては、本日、公務のため、ご欠席となっております。

続きまして、第1回の政策懇談会の内容につきまして、企画部長の原よりご報告いたします。

企画部長： 8月の第1回政策懇談会から少し時間が経ちましたので、第1回政策懇談会の振り返りをさせていただきたいと思っております。

第1回政策懇談会では、平成29年度の政策懇談会の進め方と、新居浜市総合戦略の進捗状況についてご説明させていただきました。

今年度の政策懇談会は、市長公約「7つの夢の実現」のために、このあとご説明していただきますが、7つのワーキンググループに分かれてご協議していただくことといたしました。

もう一点の新居浜市総合戦略の進捗状況では、平成28年度までの取組み状況として概ね順調に進んでいるとご説明させていただきましたが、その中で井原委員さんより、KPIのご質問がございましたので、まず、その説明からさせていただきます。

お手元に配付させていただいた、A4横の一枚ものの資料、一番上にKPIとは？と書いてある資料をご覧ください。

KPIとは、「重要業績評価指標」とも呼ばれますが、英語にすると、「Key Performance Indicator（キー、パフォーマンス、インディケーター）」の略で、直訳すると「目標を達成するための指標」となります。つまり、最終的な目標に対して、その達成につながる途中段階での状況を検証するための指標のことです。

もう少しわかりやすい例で申し上げますと、例えば、次のテストで20点アップを目指す！という目標を設定したとします。ただ漠然と「テストの点数を上げたい」と思っているだけでも、いつまでも目標の達成は出来ません。その目標のために、「毎日5ページずつ問題集をやろう」「一日に何ページ教科書を復習しよう」など具体的な目標やプロセスが必要です。KPIと

は、これらの中間目標のことでありまして、新居浜市人口ビジョン・新居浜市総合戦略については長期的なビジョン・計画となりますことから、最終的な目標達成に向け、K P I の設定、その達成状況の検証が非常に重要となってまいります。

新居浜市総合戦略の最終的な目標は、2060年、これから42年後に人口9万人を維持することであり、この目標に向かって、K P I を使って検証していこうということでもあります。

第1回政策懇談会におきまして、本年は総合戦略の中間年に当たりますことから、過去2年間の事業実績を踏まえて、最終年度の目標値について見直すことも検討したいと申し上げました。

総合戦略の中では、基本目標で7項目、施策で37項目、計44項目のK P I を設定しており、平成27年度以降毎年、外部委員で構成する有識者会議において、K P I の達成状況等を検証していただいております。

平成28年度末時点での検証結果を踏まえ、44項目あるK P I のうち、すでに目標を達成している8項目については、目標値の上方修正を行い、総合戦略を改訂する予定としております。

配布させていただいた資料2ページ目をご覧ください。

3列目にK P I の項目、その隣から26年度の基準値、27年度、28年度の実績、現況の目標値があり、今回改定する目標値を赤字で表示しております。見直しを行ったK P I は、市の創業支援による創業件数など8項目でありまして、見直し内容等を記載しております。

また、改訂後の新居浜市総合戦略もあわせて配布させていただいておりますので、のちほど、ご確認ください。

以上で、第1回政策懇談会の内容と新居浜市総合戦略の見直し内容についての説明を終わります。

事務局： それでは、これより会議を開会いたしますが、会議進行につきましても、曾我部会長にお願いしたいと思います。

曾我部会長： みなさんこんばんは。

本日は、公私ともにご多忙の中、お集まりいただき、ありがとうございます。

それでは、お手元の会次第に沿って会議を進めたいと存じます。

まず、開会にあたりまして、石川市長からご挨拶をいただきたいと存じます。

市長：開会にあたりまして、一言ご挨拶申し上げます。

委員の皆様方におかれましては、大変お忙しい中、政策懇談会にご出席いただき、誠にありがとうございます。また、本年度は、新居浜市市制施行80周年の各種記念事業の開催、また、えひめ国体のおもてなしなどにつきましても、委員の皆様をはじめ、各団体、市民の皆様にご多大なご協力をいただきましたこと、この場をお借りして、併せて厚くお礼を申し上げます。

今年度の政策懇談会につきましては、第1回の全体会を8月3日に開催し、その後、私の公約であります「7つの夢の実現」を推進するために、7つのワーキンググループを設置し、提言案を協議していただいたところでございます。

本日は、各ワーキンググループにおきましてご協議いただき、取りまとめていただきました提言案につきまして、ご審議いただきたいと考えております。

よろしく願いいたします。

2. 議事

曾我部会長：ありがとうございました。

それでは、これより議事に移ります。

本日は、市長公約「7つの夢の実現」のために、7つのワーキンググループで協議いただきました、各グループの提言案についてご審議いただき、取りまとめを行った後、本懇談会からの提言として市長に提出いたしたいと考えております。

それでは、議題1「各ワーキンググループ提言案の審議」でございませう。

ワーキンググループごとに審議していきたいと思っておりますので、まず初めに、第1ワーキンググループからの提言案につきまして、第1ワーキンググループ座長 近藤委員より、説明をお願いします。

近藤委員：(提言案を説明)

曾我部会長： ありがとうございます。

ただいま、ご説明いただきました提言案について、何かご意見、ご質問はございませんか。

(意見なし)

曾我部会長： 意見がないようですので、次に第2ワーキンググループからの提言案につきまして、第2ワーキンググループ座長 鈴木委員より、説明をお願いします。

鈴木委員：(提言案を説明)

曾我部会長： ありがとうございます。

ただいま、ご説明いただきました提言案について、何かご意見、ご質問はございませんか。

中山委員： 市政懇談会開設以来訴えてきております、受動喫煙問題につきまして、言葉ではなく、提言の中に、是非加えていただきたいと思えます。提言の3番目として、受動喫煙問題を取り上げていただきたい。

鈴木委員： この問題につきましては、毎回提起されております。提言として取り入れるか協議させていただいて、提言する場合にはどのように提言に取り入れるかということについては、座長にお任せいただきたいと思いますと思いますが、いかがでしょうか。

中山委員： わかりました。全国に先駆けて受動喫煙問題に取り組むことは、素晴らしいことだと思います。新居浜市として独自に受動喫煙防止条例の制定ということも考えていただきたいと思います。

曾我部会長： 市と協議して検討していただきたいと思います。

他にご意見ありませんか。

ないようですので、次に第3ワーキンググループからの提

言案につきまして、第3ワーキンググループ座長 日野委員より、説明をお願いします。

日野委員：(提言案を説明)

曾我部会長： ありがとうございます。
ただいま、ご説明いただきました提言案について、何かご意見、ご質問はございませんか。

(意見なし)

曾我部会長： 意見が無いようですので、次に第4ワーキンググループからの提言案につきまして、第4ワーキンググループ座長 太田委員より、説明をお願いします。

太田委員：(提言案を説明)

曾我部会長： ありがとうございます。
ただいま、ご説明いただきました提言案について、何かご意見、ご質問はございませんか。

(意見なし)

曾我部会長： なければ、次に第5ワーキンググループからの提言案につきまして、第5ワーキンググループ座長 萩尾委員より、説明をお願いします。

萩尾委員：(提言案を説明)

曾我部会長： ありがとうございます。
ただいま、ご説明いただきました提言案について、何かご意見、ご質問はございませんか。

(意見なし)

曾我部会長： なければ、次に第6ワーキンググループからの提言案につ

きまして、第6ワーキンググループ座長 迫原副会長より、説明をお願いします。

迫原副会長：(提言案を説明)

曾我部会長： ありがとうございます。
ただいま、ご説明いただきました提言案について、何かご意見、ご質問はございませんか。

井原委員： 提言案を見させていただいて、本当にびっくりしました。是非、実現してほしいと思います。今までで一番感動した提言でした。

曾我部会長： ありがとうございます。
他にご意見ありませんか。

太田委員： 駅南側は、JAさんが駅の中心部を占めており、殺風景な状況となっています。そのため、建物を建てるということが大事ということはもちろんですが、ひとつ、道路面も問題ではないかと思えます。夕方5時ごろになると、貨物の関係かと思えますが、踏切で、大変渋滞します。幹線道路がしっかり整備されていないと、発展は難しいと思えますので、そういったところも提言の中に考えていただきたいと思えます。

曾我部会長： ありがとうございます。
他にご意見ありませんか。
なければ、最後に、第7ワーキンググループからの提言案につきまして、第7ワーキンググループ座長 小西委員より、説明をお願いします。

小西委員：(提言案を説明)

曾我部会長： ありがとうございます。
ただいま、ご説明いただきました提言案について、何かご意見、ご質問はございませんか。

井原委員： 文化的な活動に参加している一人として、あかがねミュージアムの駐車場不足について、現状どのようになっているのか教えていただきたいのですが。

教育委員会事務局長： あかがねミュージアムの駐車場につきましては、施設自体の駐車場と、駅南の駐車場等の駐車場を確保しており、それらを活用してなんとかできるものと考えております。

井原委員： 私は、それでは足りないと思っています。新たに駐車場が必要ではないでしょうか。また、駅南の駐車場などについては、知らない市民の方も多数いるので、重ねてPRしてほしいと思います。

教育委員会事務局長： 駅南の駐車場等につきましては、今後も広報して、そうすることによって、駐車場の確保に努めていきたいと思っております。

井原委員： もう一つ意見があります。文化協会、生涯学習大学、創造学園、ウィメンズプラザ等に属している文化的なグループは、年1回の発表などで、あかがねミュージアムを使っていると思いますが、どこにも属していない、本当に小さな団体は発表の機会が無いというのがネックとなっています。それらのグループの方は、グループの中だけの満足でこれまでやってきたと思いますが、非常に立派な作品が多いのも事実です。そういった小グループを何グループか集めて、コラボレートされて、あかがねミュージアムを使ってもらうことが、市民へのPRにもなるし、高齢者の健康長寿にも寄与すると思います。小グループが一つの団体であかがねミュージアムを借りるということは大変ですが、市の共催となると、あかがねミュージアムの利用料も安くなるということもあるので、市政の温かい目配りを願います。

曾我部会長： 駐車場の件については、まちづくりの中で提言として考えてほしいと思いますが、小グループの対応については、もう

少し具体性が出てこないとなかなか市もお答えは難しいと思います。

井原委員： 市のいろいろな調査の一つとして取り上げてほしいと思うのですが。

教育長： 井原委員のおっしゃる通り、様々な市民の方の文化活動が、いろいろな材料に展開されるまちが、文化の香りあふれる街であると思います。昨日もさまざまな場所で文化活動が行われました。まずは、みなさんが活用できるところから入って行っていただいて、その延長線上にあかがねミュージアムを利用しやすい展開ができるように努力していきたいと思います。

井原委員： よろしくをお願いします。

曾我部会長： 他にご意見ありませんか。

太田委員： スポーツの振興ということで、提言案を見させていただきましたが、今回のえひめ国体でも、優秀な結果を収めており、スポーツの振興に力が入ってきていると思います。スポーツの選手育成も一つ大切なことですが、側面的な面として、子どもたちは、応援団がいればもっと頑張れるということもあるのではないかと思います。甲子園なども、大応援団がいるということで、頑張れるということもあると思います。そこで、選手だけではなく、応援団の側面的な支援を行ってほしいと思います。泉川が、12月に駅伝大会で全国大会に行くことになっており、PTAや保護者会で寄附金を集めています。限界があります。バスを借り上げるだけでも、100万円近い金額が必要となります。小中学校は、市の管轄であるので、側面的な面への支援も提言に入れていただきたいと思います。

教育長： 応援団に対し、派遣助成を行うというのは、なかなか難しいと思われま。今までいろいろな形の活動があり、多分、保護者の方や隣近所の方が応援したいということでやってきているということが、現状ではないかなと思います。現段階では、太田委員の言われるサポートは難しいと考えますが、これから先、新居浜

市の色々な活動を支えていけるような、市の方から直接助成するというのではなく、みんながそういうものを支えていけるような新しいシステムのようなものを考えていければいいかなと考えております。今後、検討していくべき課題だと思っています。

曾我部会長： 他にご意見ありませんか。よろしいですか。

各ワーキンググループからの提言について、御協議いただきありがとうございました。

それでは、次に議事2 意見交換に移りたいと思います。政策懇談会全体を通して、何かご意見などございませんか。

(意見なし)

曾我部会長： ないようでしたら、ご多忙中にもかかわらず、本年度も懇談会の活動にお力添えをいただきました、東淵先生から、まとめのご意見をいただきたいと思います。よろしくお願ひします。

東淵教授： 7つのワーキンググループの活動状況、どのワーキンググループも非常に熱心に活動されていることについて、大変感銘を受けました。共通しているところは、若い人という部分が、どのグループにもあったと思います。長期的な新居浜のまちづくりが真剣に議論されているということに関して、将来に向けて明るい気持ちになってきました。前回、石川市長がおっしゃった、若者にも意見を言ってもらえる場を設ける予定という、市長の想い、理念、価値観を密にされているなということが伝わってきました。なにごとも、プロジェクトを形にしていく場合には、多くのメンバーが協力していかないといけません、そのためには、想いを一つにしていくことだろうと思います。若い人が力を発揮できるような場にしていこうという市長の想いを共有されて、そういう視点が表れてきたのだろうと思います。様々な提言案がなされていますが、これをどう実現していくかということが、これからの一番大事なところだと思っています。若い人たちをどんどん巻き込んでいただきたいと思っています。今回、第6ワーキンググループでは、高校生、高専生、20代30代の人たちにメンバーになってもらい、意見を出して

もらっているということで、委員さんからも素晴らしいという意見がありましたが、若者を巻き込んでいくということが重要かなと思います。巻き込むために必要なのは、若者が共感できる将来像、理念、価値観などを若者とすり合わせる必要があります。これから、提言されました様々なプログラムを実施していく中で、若者とみなさんが一緒になって、そして、若者を育てていただきたいと思います。それが、次の世代を作っていくことだと思います。人が育つための必要な要素として、5つ視点を紹介したいと思います。一つ目は、ストレッチ、背伸びをすることを許すということです。自分ができることを少し超えたところに挑戦することを、若者が自ら進んでしたくなる雰囲気づくりとして、上の者の姿勢としては、管理するのではなく、若者が背伸びしようとするのを支える、サポートすること。いちいち指示命令するのではなく、できるだけ若者に考えさせる、自分で考えて行動し、失敗するかもしれないが、自分で自分を律する自律。それから、決まっていることはきちんと守るという規律。一番大事なのが、信頼。ストレッチ、サポート、自律、規律、信頼の要素がある組織は、若い人が育っていく組織です。様々な取り組みをされていく際に、皆さんには年長者として若者が育つよう心掛けていただきたいと思います。また、具体的にどういう風に一緒にやっていくかということですが、全ての人たちが満足できる仕組みということは、予算上もできないことですので、ターゲットを絞って、ターゲットにした人たちが求めるような形を提供できるようにしていく仕組みづくりを考えることです。自助でやっていくという仕組み、誰か一人が負担を抱えるという仕組みではなく、皆さんそれぞれが負担し、目的が達成できるという仕組み作りも大事なのかなと感じました。若い人を巻き込んでいただきたい、若い人を育てる場を作っていただきたい、これから様々なプログラムを実施していく場合はターゲットを絞って進めていただきたい、ということを感じました。

曾我部会長： 貴重なご意見、ありがとうございました。

各ワーキンググループからの提言につきましては、委員をはじめ、オブザーバーの皆様からいただきましたご意見を踏

まえまして、本日の審議結果に基づき、改めて政策懇談会として取りまとめたものを、私から市長に提言書として提出させていただきたいと思います。

なお、提言書の取りまとめにつきましては、私にご一任いただきたいと思いますが、よろしいでしょうか。

(異議なし)

曾我部会長： ご承認いただきましたので、後日改めまして提言書を市長に提出いたします。市長をはじめ、行政のご担当の方々には、提言した内容の実現に向けた取り組みをお願いしたいと存じます。

最後にその他、なにかご意見、ご質問はございませんか。

(意見なし)

曾我部会長： 最後に行政を代表して、市長に一言お言葉をいただきたいと思います。

市長： 委員の皆様には、大変ご熱心に議論いただきましてありがとうございました。私も議論を聴きながら感じていたことは、先ほど東渕アドバイザーの方から言っていただきまして、第6グループの高校生の意見を言っていたということ、今回非常に印象に残ったと感じてございます。大きなお話ではございますが、できるものから少しずつ行っていきたいと考えます。いずれにしても、本日お示しいただきましたご提言につきましては、私の公約でございます、「7つの夢の実現」を推進していく上で、大変参考となるご意見だったのではないかと考えております。今後、懇談会の会長さんの方からご提言をいただきましたら、即、予算化が必要なものにつきましては、これから始まります30年度の当初予算の中で議論していきたいと考えているところでございます。本年度の政策懇談会は、本日で終了となりますが、委員の皆様には、今後におきましても、引き続き、より良い市政運営のために、お知恵をお貸しいただくとともに、ご協力を賜りますよう、改めまして、お願い申し上げます。本日は、本当にありがとうございました。

曾我部会長： ありがとうございます。

委員・オブザーバーの皆様には、会議進行にご協力いただき、ありがとうございました。それでは、これをもちまして、進行を事務局にお返しします。

3. 閉会

事務局： 曾我部会長、会議進行ありがとうございました。

以上を持ちまして、本年度の懇談会を終了いたします。皆様、お気をつけてお帰りください。